

# ディーヴァーリーの紹介

2018年11月4日(日)～11月8日(木)

光の祝祭のディーヴァーリーは、アシュウィンとカルティクの間(西暦の10月と11月の間)の数日間、インド全土で祝われます。この祝祭は、ゴーヴァトウサ・ドウワダシー、ダンテーラス、ナラク・チャトルダシー、そしてディーヴァーリー自体の四つの祭典で構成されています。

ヒンディー語の呼び名であるディーヴァーリーは、「ランプの列」を意味するサンスクリット語ディーパーヴァリーから派生しています。祝祭の間、ディーヤーと呼ばれる小さな焼き物のランプがともされ、神聖な光の勝利を表します。ディーヴァーリーは内側の光、すなわち大いなる自己の光、すべての創造物を照らす光を祝うものです。

## ゴーヴァトウサ・ドウワダシー

2018年11月4日(日)

ディーヴァーリーの祝祭の初日は、ゴーヴァトウサ・ドウワダシーです。それは、この日の夕方、太陽が沈むころに乳牛と子牛にプージャーをするインドの伝統です。牛はインドで最も神聖な動物の一つと考えられており、牛にプージャーをすることは、すべての動物や自然に存在する神聖な力をたたえる方法です。プージャーの前には牛舎を清潔にしてマンゴーの葉と花で飾り、ランプをともします。人々は、牛の額に香油、ビャクダンの練香、クムクムを付け、牛にアーラティーを行い、お菓子を牛に与えて祈ります。

## ダンテーラス

2018年11月5日(月)

ダンテーラスでは、富と繁栄を具現する女神マハーラクシュミーとクベーラ神を崇拝します。金貨などの黄金や、金色の果物、花、布などをグルにささげるのが伝統です。黄金をささげる象徴として、多くのシッダ・ヨーギはダクシナーをささげます。

## ナラク・チャトウルダシー

2018年11月6日(火)

この日、クリシュナ神が悪魔ナラカに打ち勝ちました。それは、ナラク・チャトウルダシーの日に油で沐浴する儀式をして、シュリー・ラクシュミーと聖なるガンジス川からの祝福を受ける伝統です。インドでは日の出前の、星がまだ空に見える時間にこの沐浴をすることは、聖なるガンジス川で沐浴することと同じであると信じられています。

ナラク・チャトウルダシーの夜は、インドの伝統的な暦であるパーンチャーンガによると、1年で3日ある最も吉兆な夜の中の1夜です。

## ディーヴァーラー

2018年11月7日(水)

ディーヴァーラーは、ラーマ神が妻のシーターと弟のラクシュマナと共にアヨーデャーに戻ったことを記念するものです。彼らの14年間の亡命は、ラーマ神とその軍隊が悪魔ラーヴァナを打ち負かしたことで終わりました。アヨーデャーの人々は自分たちの王が帰還する喜びに満ち

たお祝いに、土製のランプで彼の通る道を照らしました。アヨーダー中がディーヤーで飾られました。

ディーヴァーリーは、終わりと新たな始まりの両方の時であり、友情、寛容、善意の精神で満たされています。この日、女神マハーラクシュミーが崇拝されます。彼女は、整頓された清潔で美しい場所に住みます。

彼女を迎えるために、人々は家や職場を掃除し、飾り付けをします。また、特別な食べ物を用意し、プージャーをし、そして精神修行を行うことでマハーラクシュミーをたたえます。

## バリー・プラティパダー

2018年11月8日(木)

ディーヴァーリーの翌日は、ヴィシュヌ神が小人ヴァーマナとなってバリー王に打ち勝ったことを記念するバリー・プラティパダーです。グジャラート州、そしてマハーラーシュトラ州の一部では、バリー・プラティパダーは新年の始まりとして祝われています。バリー・プラティパダーは新しい始まりの活気にあふれたエネルギーで満たされています。そしてそれは1年の中で3日半ある最も吉兆な日の中の1日です。意図と決意を明確にし、友情を新たにし、争いを解消する時です。

この日、人々は新しい服を着て、贈り物やお菓子を交換し、年長者たちからの祝福を願います。ビジネス関係者は新しい帳簿を始めることによってこの新しい始まりをたたえます。帳簿を清算することは、マハーラクシュミーが入る空間を作るということです。

伝統的に、この日は新しい年にやりたいことに手を付ける日です。シッダ・ヨーガの道では、私たちはサーダナーへの決意を定め、精神修行に取り組み、シッダ・ヨーガの教えを与えてくれるシュリー・グルに感謝することで、バリ・プラティパダーを祝います。



© 2018 SYDA Foundation®.著作権所有。